

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会

『大きく大きく育ちますように!!!』
(令和6年6月26日 田植え体験(高木小学校))

6月議会で決まったこと 2

Pickup! 質疑応答Q&A 3

町政を質す! 4

委員長報告(令和5年度陳情第6号) 14

議会運営委員会先進地視察研修 15

令和6年度御船町こども議会開催します・

委員会報告 16

シリーズ「学校のいま」七滝中央小学校 17



議会HPは
こちら

No.201
6月議会
R6.7

6月 議会 で決まったこと

令和6年6月13日(木)午前10時開議

令和6年度第1回御船町議会定例会（6月会議）議事日程

令和6年度補正予算

千円（単位）

会計名	補正額	補正後合計額
一般会計	381,694	13,292,570

Pickup
P3

専決処分の報告

工事請負変更契約の締結について（御船小学校体育館屋根等改修工事）

工事請負変更契約の締結について（木倉小学校校舎増築工事）

工事請負変更契約の締結について（七滝社会教育センター解体工事）

町道吉無田線の落石による事故に関する和解及び損害賠償額の決定について

町道吉無田線の落石による事故に関する和解及び損害賠償額の決定について

御船町税条例の一部を改正する条例の制定について

御船町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

報告

緑越明許費繰越計算書について

事故繰越し繰越計算書について

条例等の改正・制定

御船町地域防災計画の一部修正について **採択**

御船町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について **採択**

御船町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について **採択**

御船町下水道条例の一部を改正する条例の制定について **採択**

委員長報告
P14

陳情

牛ヶ瀬2区「みんなの家」駐車場の整備の陳情について **不採択**

御船町地域防災計画

令和6年度

御船町防災会議

御船町地域防災計画



Pickup

専決処分の報告

おしえて!

ふねまるくん



「専決処分」って何？

本来、議会の議決すべき事項について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決を経ずに処分することをいう。

御船町では、地方自治法第180条第1項の規定により町長の専決処分できる事項は「町長の専決事項の指定について」で定められている。

また、地方自治法第180条第2項には専決をした時は、議会に報告しなければならないとなっている。

議会の承認は不要で報告だけで良いのは、専決事項とその内容について「町長の専決事項の指定について」で定められてるからである。

●町長の専決事項●

- (1) 町の義務に属する損害賠償のうち、その額が1件の金額が50万円を超えないものの額を定めること並びにこれに伴う和解及び調停に関する事
- (2) 町営住宅(単独住宅含む)に係る家賃等の請求並びに住宅の明渡し請求に関する訴訟、和解及び調停
- (3) 議会の議決を得た工事請負契約において、当該議決に係る契約金額の10分の1(平成28年熊本地震の復旧に伴う工事請負契約以外のもので、変更額又は変更額の累計額が500万円を超える場合を除く。)を超えない範囲での変更
- (4) 会計年度末における議決済みの町債の借入額の増減及びそれに伴う歳入歳出予算の補正
- (5) 会計年度末における地方交付税等の一般財源、基金繰入金及び基金積立金の増減に関する歳入歳出予算の補正
- (6) 災害等により応急に必要となる維持補修及び工事等に関する歳入歳出予算の補正
- (7) 解散、欠員等の事由に基づく選挙費に係る歳入歳出予算の補正
- (8) 会計年度末における法令等の改正に伴う必要な条例の改正



七滝社会教育センター解体跡地



木倉小学校増築校舎



ただ 町政を質す！

6月議会一般質問



福本 悟 議員



地域防災力の向上は



中城 峯雄 議員



地籍調査事業の進捗
状況は



藤川 博和 議員



33の事業の実現はい
つか



岩永 宏介 議員



基本的人権は外国人
にも適用されるか



作田 豊明 議員



中山間地域の活性化は



福永 啓 議員



人口増加傾向にある町
の課題は



増田 安至 議員



条例制定後の検証は
進んだか



田上 忍 議員



重点をおく情報発信
手段は



田上 英司 議員



有機フッ素化合物への
対応は



地域防災力の向上は

A.生活用水の確保など事前の備え

福本 悟議員



◀動画をチェック

質問の背景

平成28年熊本地震、その教訓を踏まえ、課題となった災害情報の発信・伝達、避難所の運営、緊急時のための食糧・飲料水の備蓄など、一般災害や地震災害などの防災体制の強化を図るために平成29年度から2年間で町地域防災計画の見直しが行われた。計画の見直しから5年が経ち、災害に強いまちづくりとして、消防団員の人員確保、避難所の環境整備と運営、災害時の生活用水確保など、地域防災力の向上について考えを伺った。

問 地域防災力の向上は

町長 地域防災リーダーの育成を図るため防災士を養成のほか、自主防災組織への活動補助金による資機材の充実や防災訓練の実施など。

問 消防基本団員の確保対策は

町長 消防団員の活躍を広く町民に伝え、消防団を大事に思う心や、誇りに思ってもらえる体制づくりが、団員確保には大切と感じている。

問 防災井戸設置の検討状況は

危機管理防災課長 防災井戸を独自に設置している民間企業もあり、本町に合った防災井戸の在り方について研究している。

問 「避難所運営マニュアル」の策定状況は

危機管理防災課長 策定している。本年2月に実施した防災訓練では、自主防災組織にも参加をいただき、マニュアルに基づいた避難訓練も実施した。

問 井戸を「災害時協力井戸」として登録制度の活用は

環境保全課長 現在運用にまで至っていない。これまで、災害時協力井戸の登録制度について検討を重ねており、令和7年度中の運用開始に向け制度設計を行っている。

問 緊急時相互連絡管の整備は

環境保全課長 下辺田見と甲佐町早川の配水管を連絡する計画で、令和6年度中の協定締結に向けて準備を進める。

問 熊本地震の発災から8年が過ぎ、町の災害対応を経験していない若い職員も増え、発災当時の状況を継承し初動訓練等をしっかりと進めるなど、地域防災力の強化を図る必要がある。藤木町政の防災対策に対する決意は

町長 自助、共助、公助を推し進めてきたが、まだまだ必要な対策があり、そのために危機管理防災課を新設、10の重要政策にも防災対策を掲げた。引き続き、災害に強いまちづくりを目指していく。



防災公園予定地（高木保育園跡地）

質問を終えて

災害の後に困ったことの「生活水の確保」については、災害時協力井戸の登録制度設計や緊急時相互連絡管整備の協定締結に向けて準備されるなど地域防災力の強化が図られ、更なる防災・減災対策に期待する。



地籍調査事業の進捗状況は

A. 令和5年度末で14.9%

動画をチェック▶



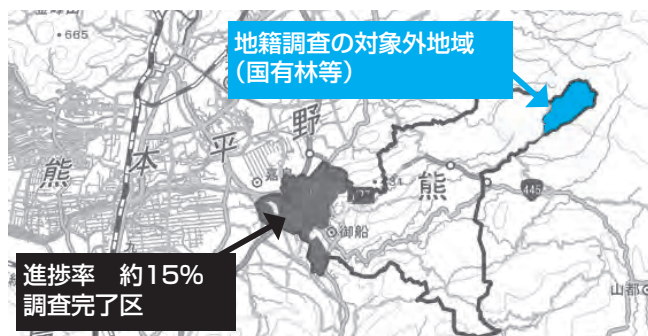
質問の背景

地籍調査事業は、令和4年度9月議会で質問したが、平成15年度から着手し、令和3年度末現在の進捗率は13.4%。2年が経過してどのようになっているかについて聞いた。

1. 地籍調査の現状と今後の取組みについて

問 現在の進捗率は何%か

農業振興課長 調査対象面積は約93km²で、令和5年度末現在の進捗率は14.9%。



地籍調査状況マップ（出典：地籍調査 web サイトより）

問 2年経っても進捗率が1.5%しか伸びていない要因は

農業振興課長 進捗率が低い要因としては、現在同時に進めている熊本地震に係る成果修正業務は進捗率に反映されないこと、また、現在町中心部周辺であるため商業地や宅地が多く、筆数が多いことから調査面積を確保できないことが要因。

問 令和4年4月の定期人事異動で、地籍調査係は体制強化されたが機能しているか

農業振興課長 調査区域を今までの1調査区から2調査区に今年度から拡充している。

問 山間部の調査は

農業振興課長 山間部は地理的条件も厳しいため、リモートセンシングデータの活用を取り入れた航測法という新技術を活用していく。

問 今後の地籍調査計画は

農業振興課長 来年度は、土地開発が活発な辺田見、木倉地区の調査に着手する、その後滝尾地区、水越、七滝、田代、上野の山間部への調査を進めていく。

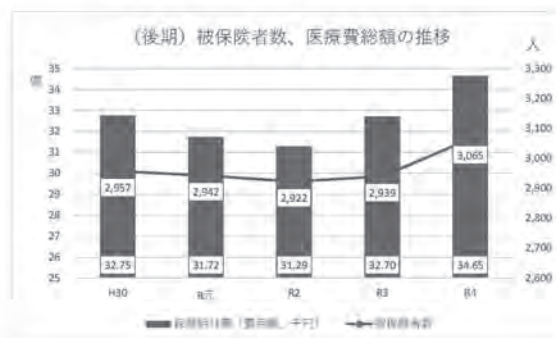
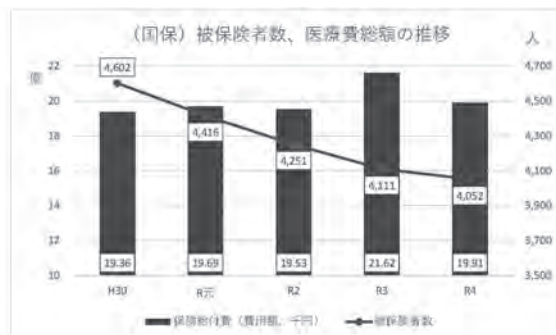
2. 町民の健康増進について

問 町民の健康増進を図るため、諸施策が策定されている。それらの検証結果について、今後どのような健康推進施策を展開していくのか

健康づくり保険課長 町民の健康づくりを推進するための計画「健康いきいき御船プラン21」「第2期データヘルス計画」の検証で町民の健康課題が整理できたので、今後の展開としては、ライフステージに応じた取り組みを進めていく。

問 町の国民健康保険被保険者や後期高齢者医療保険の医療費の動向は

健康づくり保険課長 グラフに示す通り



問 医療費の状況について、受診割合の高い疾病など何か傾向がみられるか。また健康増進、疾病予防に関し、現在どのような事業に取り組んでいるか。

健康づくり保険課長 総医療費の約50%が生活習慣病によるもの。

これらの共通のリスクとなる高血圧や糖尿病の減少を目指し、血圧、血糖、脂質異常等の検査結果を改善するために、状態に応じた保健指導を実施している。

質問を終えて

地籍調査事業は土地資産の保全、災害後の速やかな復旧や公共工事の迅速化等を図るため、迅速かつ効率的な調査を望む。健康増進については引き続き取組強化を望む。



33の事業の実現は いつか

A.実現に向けて努める



◀動画をチェック

藤川
博和
議員

質問の背景

10の重要政策を実現に向けて33の事業が提案されている。事業の内容について質問する。

問 10の重要政策の所管はどこか

秘書政策室長 秘書政策室になる。

問 33の事業を管理・統括も秘書政策室で行うのか

秘書政策室長 事業についてはそれぞれの課で行い、進捗状況の管理は秘書政策室で行う。

問 33の事業を事業としたわけは

秘書政策室長 10の政策は御船町の基本的な方向性を示したものの。18のプロジェクトは施策にあたり、政策実現のための具体的な対応方針を示したものの。33の事業は施策を実現していくための具体的な方法手段ということで事務事業という形で33の事業を位置付けている。

質問を終えて

各課によって実現に向けた33の事業が達成できて、10の重要政策も達成できると思う。事業の進捗状況と成果を12月、3月の議会で質問していく。

10の重要政策に伴う33の事業一覧

1. 防災対策

1 安全安心なまちづくりプロジェクト

1 交通安全・防犯体制の強化事業
2 御船町防災フェア実施事業
3 自主防災組織強化事業

2 雨に強いまちづくりプロジェクト

5 浸水軽減対策事業
4 内水ハザードマップ作成事業

3 災害時でも安心！給水体制強化プロジェクト

6 災害時の給水対策事業

4 住み続けられるまちづくりプロジェクト

7 中山間地域拠点整備事業
8 移住・定住支援事業

2. 中山間地域活性化

5 中山間地域福祉推進プロジェクト

9 中山間地域福祉推進事業

6 小規模特設校の魅力発信プロジェクト

10 魅力創出発信事業

3. 企業誘致

7 企業誘致プロジェクト

11 台湾関連企業誘致事業
12 波及効果の大きな企業誘致事業

4. 地域公共交通

8 おでかけプロジェクト

13 地域公共交通の更なる魅力化推進事業

5. 教育の充実

9 どきどき外国語(英語)教育プロジェクト

14 English step up 事業
15 グローバル人材育成事業
16 カルチャースクール実施事業
17 地域人材等を活用した教育連携事業
18 放課後子ども教育実施事業
19 小中学校のDX化事業

10 みふねっ子教育応援プロジェクト

6. 子育て健康福祉

11 みんなで子育て応援プロジェクト

20 新たな子育て支援事業

12 子どもの居場所支援プロジェクト

21 子ども居場所支援事業

13 受けて安心・知って長生き・健診プロジェクト

22 健康サポート事業

14 みんなで支える地域生活形成プロジェクト

23 多機関の連携による包括的な支援体制整備事業

7. 歴史文化芸術の研究と継承

15 "みふねミュージアム" 文化教育の森プロジェクト

24 自然文化遺産収蔵活用センター整備構想事業
25 美術展示・図書館拡充検討事業
26 御船町の歴史学習事業
27 地域資源(観光資源)継承事業

8. 経済の振興

16 新たな経済循環創出プロジェクト

28 中企業等活性化事業
29 交流人口拡大による経済循環事業
30 持続的な農業の支援事業

9. デジタル技術の活用

17 デジタル変革プロジェクト

31 書かない窓口などの利便性向上事業
32 業務効率化事業

10. 創造的復興、その先に向けた政策

18 キッズドリーム運動公園プロジェクト

33 キッズドリーム運動公園整備事業





基本的人権は外国人にも適用されるか

A. 外国人にも適用される

動画をチェック▶



質問の背景

ここ数年のうちに町内で多くの外国人を見掛けるようになった。町内在住外国人に関する役場の業務や対応がどのようになっているかを問う。

問 外国人に関する業務は役場のどの部署が行っているか

総務課長 その内容に応じて関係課が対応している。

問 外国人に関する業務には、どのようなものがあるか

総務課長 御船町課設置条例や組織規則等で業務分担を定めているが、外国人に特化した業務は明記していない。国籍で区分せず共通の事務として所管課で対応している。

問 町内にはどれくらいの外国人の方々が住んでいるか

町民税務課長 平成31年は68人、令和2年86人、令和3年94人、令和4年94人、令和5年113人、令和6年162人。5年間で94人増加している。

問 外国籍を持つ人のうちどのような人たちが役場に届け出るのか

町民税務課長 在留カードを持ち、就労等の目的で町内に転入または転出する方が届け出る。

問 御船町に住むようになった主な理由を掴んでいるか

町民税務課長 令和6年3月末の町内在住者162名のうち124名(77%)が技能実習や特定技能の資格を持つ就労目的での在住者である。

問 憲法に明記された基本的人権は外国人にも適用されるか

福祉課長 日本国憲法が国際協調主義の立場をとっていること等を根拠として、憲法の人権規定は一定の範囲内で外国人にも適用される。

■ 御船町内外国人数の推移

国名	H31年 3月末	R2年 3月末	R3年 3月末	R4年 3月末	R5年 3月末	R6年 3月末
ベトナム	19	28	31	35	38	53
インドネシア	1	4	4	3	28	46
中国	23	26	30	27	15	17
ミャンマー	4	5	4	4	6	14
韓国	10	9	9	9	11	10
カンボジア	0	2	3	2	3	7
フィリピン	4	4	4	5	5	6
バングラデシュ	0	2	2	2	3	3
アメリカ	2	3	3	3	2	3
朝鮮	1	1	1	1	1	1
ネパール	0	0	0	0	0	1
タイ	1	1	1	1	1	1
ブラジル	0	0	1	0	0	0
台湾	1	1	1	2	0	0
デンマーク	1	0	0	0	0	0
アイルランド	1	0	0	0	0	0
合計	68	86	94	94	113	162

(町民税務課作成)

質問を終えて

先日、横浜市教育委員会が児童生徒への性犯罪に問われた教員の裁判の公開に職員を動員し、第三者が傍聴できない状態にしていたという事案が発覚した。日本国憲法で規定する「裁判の公開」の原則への無理解、無知さ加減にあきれる。この事案の例を引くまでもなく自治体行政や地方議会で憲法に対する理解不足から様々な問題事例が起きている。わが国の最高法規である日本国憲法に則った行政運営とあわせて、町内在住外国人がこの町に住んで良かった、と思えるような町役場の施策が推進されることを願って止まない。



中山間地域の活性化は

A.住み続けたいと実感できる地域づくりを目指す

作田 豊明議員



◀動画をチェック

質問の背景

第6期総合計画（後期）基本計画がスタート、1 防災対策における危機管理 2 中山間地域の活性化の重要政策の実現に向けた計画について質問した。

1 防災対策における危機管理について

問 防災士の現状と役割についての認識は

危機管理防災課長 R3年から防災士の養成を行い、現在96名の防災士が誕生。各地域の防災訓練への協力や災害危険箇所の早期発見、災害が発生した場合の避難所運営や災害情報の収集など行う。

2 中山間地域活性化について

問 住み続けられるまちづくりプロジェクトの内容は

まちづくり課長 中山間地域に移住し、そこに住む人が住み続けたいと実感できる地域づくりを目指し「中山間地域拠点整備事業」と「移住・定住支援事業」を展開

問 移住定住に繋がる空き家バンクの状況は

まちづくり課長 R5の問合せ件数22件の内（登録件数6件（内空き家4件、空き地2件）、空き家バンクで取り扱った19件のうち4件が成約。

問 未登記物件の登記も全額の補助金交付対象とする考えは

まちづくり課長 建物の表題登記は法律で義務付けられており専門家の意見をお聞きし、補助の拡充など検討していく。

問 地域包括ケアやサロンの現状は

福祉課長 R6年4月現在、町内で72カ所の地域サロンが行われている。また、56区では、「見守りネットワーク事業」の取組を行い、地域のなかで一人暮らし高齢者等を見守る体制作りも進んでいる。

問 小規模特認校「七滝中央小」の魅力発信と保護者の負担軽減は

学校教育課長 毎年開催している「七滝中央小学校見学会」、今年度はバスを借り上げ、七滝中央小学校及び



スクールバス

周辺を案内するツアーを秋ごろ開催する予定。

また、昨年度からコミュニティーバスを利用することで、保護者の送迎の負担軽減に繋げている。

問 旧七滝小校舎解体に伴い地元の要望等が計画に取り入れられるのか

社会教育課長 地域の意見、要望等を取り入れながら進めており、解体され、更地になったことで整備イメージやアイデアが出しやすくなった。今後も話し合いを重ねながら、より良い拠点整備となるよう取り組んでいく。

問 田代東部小校舎の地元アンケート調査の結果と今後の計画については

学校教育課長 結果は民間等の活用62%、地域住民で活用22%、売却11%、解体16%の結果で、民間施設として利用する場合、介護・福祉施設、農産物等の生産、貯蔵、加工施設の要望があった。今後、境界の確認を行う必要がある。

問 有害鳥獣防止の対策は

農業振興課長 狩猟免許を持つ農業者を対象に捕獲技術の向上を目的とした研修会や現地指導も行っている。

問 北園有水線の計画的な改良工事の現状と計画は

建設課長 計画的に改良を進めている。現在は地元から要望のあった滝園区の改良工事を実施している。

問 水越、七滝地域住民が自然災害での孤立が心配。県道が災害による通行止もある。町としての計画的な改良工事を早急に進めていく考えはあるのか

町長 町道北園有水線は重要な路線と認識しており、住民の安全・安心の生活に欠かせない道路として道路改良に取り組んでいく。



町道北園有水線

質問を終えて

中山間の人口減・高齢化・離農・耕作放棄地・孤立が心配される地域の活性化対策を後期計画で問題解決に向け取り組んでいただきたい。



人口増加傾向にある町の課題は

A. 人口の地域偏在や年齢構造の偏りなど

動画をチェック▶



質問の背景

人口が増加傾向にある中、この流れを止めることなく住みよい御船町を子供たちに手渡すためには町は何をすべきか質問した。

問 御船町の人口は子育て世代を中心に増加傾向にあるが、転入増が主な要因で、自然減は続いている。自然減対策のポイントは若年女性だと考えるが、若年女性の人口割合はまだまだ少ない。若年女性が住みたい、住み続けたい、住みやすいまちづくりを行う事が、将来的自然減対策の重要な要素であり、町自体の活性化にもつながるのではないかと。

まちづくり課長 若い女性が住みたい、住みやすい、住み続けたいまちづくりを行う事は、将来的に出生数の増加に繋がると期待でき、自然減対策及び町の活性化にもつながると考えている。

問 人口が回復傾向にある御船町において、大きな課題の一つが人口の偏在だと考える。特に中山間部の集落はいわゆる「限界集落」の定義に合致するところも多いが、それ以上に高齢化、人口減少が進み、廃村の危機にあるような集落が出てきているのではないかと。人口が回復傾向にある今こそ、地域の方々と地域の未来について、真剣に語り合う場を持つべきではないかと。

まちづくり課長 中山間部の課題は町としても重要な課題であると認識し、町の総合計画10の重要政策の中に「中山間地域活性化」を上げている。課題解決のため、地域の方々の意見を聞くことから始めたいと思っている。

問 平坦部では新たな住宅開発が進み、小学校校区や行政区の境界が合理的ではないところが増えているのではないかと。子供たちの通学の安全や、地域としてのつながりを維持していくためにも、校区や行政区についての検討が必要な時期ではないかと。

学校教育課長 校区全体を一律に見直すという事は、将来的な小学校のありかた自体にも関係してくるので難しく、現状、通学路の安全性等や地域性に対処する施策としては、学校が選択できる緩衝地域の導入等に関して、他の自治体の取り組みなど参考に研究したい。

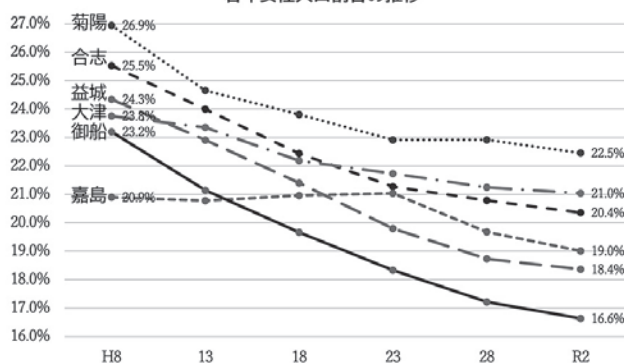
まちづくり課長 行政区の統合、分割や境界の変更等に関する協議は、地域における合意が必要であり、そのうえで地域の方々と共に、どのような在り方が望ましいのかと議論を進めていくことが重要と考えている。

若年女性人口割合

(令和5年(2023年)10月1日現在)

	菊陽町	合志市	大津町	嘉島町	益城町	御船町	県平均
若年女性人口割合 (15~49歳女性)	21.8%	20.3%	20.3%	19.6%	18.3%	16.9%	17.9%

若年女性人口割合の推移



質問を終えて

人口が回復傾向にある今こそ、これまで見過ごされてきたような各種課題解決にあたる時期であり、そのためにも、開発、景観等を含めたまちづくりの理念を町民と共有していくことが重要であることを実感した。



条例制定後の検証は進んだか

A. 今後も積極的に取り組んで行く



◀動画をチェック

質問の背景

1) 昨年条例制定された中小企業等振興条例について質問した。2) 自然災害の多い日本で、災害を想定した地区防災計画はどうか確認する。3) 森林整備計画の課題を質問する。

1) 中小企業振興条例制定後の状況は

問 制定後の実績は

商工観光課長 創業・新分野チャレンジ事業応援補助金を創設し計4件(リユース品販売1件、ホットドッグ等販売1件、農産品の加工販売1件、墓石等の販売1件の支援)の活用があった

問 商工会との連携は

商工観光課長 商工観光課から商工会理事会に年8回程度参加し、連携を図っている。

問 今後の方向性は

商工観光課長 活性化会議の審議や提言を踏まえ、町の中小企業等の活性化に取り組んでいく

2) 地区防災計画の策定状況について

問 自主避難が困難な避難行動要支援者への対応は

福祉課長 R5年9月1日現在で3,170人を登録している

問 要支援者への対応計画は

福祉課長 毎年、避難行動要支援者名簿情報を更新している

問 個別計画の策定は

福祉課長 対象者の約5割が出来ている。今後は、身体状況や浸水想定区域に居住される優先度の高い方について策定を進めていく

問 町の地区防災計画は

危機管理防災課長 79行政区のうち69地区で策定済み。ほとんどの地区で区長が組織の長をされているため、今後は防災リーダーを育成して

防災関連業務を分担して頂けるよう考えている。今後も自主防災組織の強化に取り組んでいく。

3) 森林環境譲与税の活用と林業育成について

問 町の譲与税の推移と目的は

農業振興課長

町は山林面積も広く事業体も多いため、今の譲与基準以外にも国や県の担当者に働きかけをして

年度	国からの交付金
令和元年度	4,572千円
2年度	9,718千円
3年度	9,718千円
4年度	13,260千円
5年度	13,260千円
6年度	16,838千円

(本町の森林環境譲与税交付の推移)

いく。森林整備は「御船町公益的機能発揮森林整備事業実施補助金」、「御船町クヌギ林整備支援事業費補助金」を活用した間伐等の森林整備。人材育成は「林業担い手対策事業補助金」を創設し、安全装備備品及び健康診断に係る経費や資格取得の助成、雇用奨励金を助成。木材利用は町として建築物等に県産材を利用するなど木材利用の促進など研究する。普及啓発は小学校の親子等を対象とした木育の活動など。

問 森林の境界整備の課題は

農業振興課長

令和元年度より人工林の境界確認を行ってきた。昨年度までの5年間で約1,009haの境界整備ができた。高齢化などもあり、境界の確認が難しくなっている。本年度から、法務局字図を利用した仮配置図を作成し、所有者の把握や境界の確認を行っていく。

質問を終えて

御船町の発展にはどれをとっても必要な施策である。多くの山林を持つ自治体として、これからも産業育成を主眼とした、林業の育成にも力を入れていくべきだ。





動画をチェック▶



重点をおく情報発信手段は

A. 公式LINEに重点を置く

質問の背景

情報発信の道具としていくつもあるが誰が何を発信するのかを明確にする。

問 防災行政無線で発信できる内容は

危機管理防災課長 要綱で規定しており(1)自然災害、事故災害等の非常事態情報(2)町民の生命、財産等に関わる緊急情報(3)町その他官公署の公示事項及び広報に関するものを危機管理防災課が発信する。また、屋外拡声子局運用基準に関する要綱を規定しており(1)非常災害時等の緊急情報(2)地区の公共的行事等の連絡事項を発信できる。上益城消防署から住宅や原野などの火災情報を発信する。

問 防災行政無線が聞こえない人への対応は

危機管理防災課長 個別受信機や文字表示装置を貸与、また放送を聞き逃した場合の電話自動応答も行っている。さらに公式LINEによる情報発信も行っている。

問 情報発信は誰がやっているか

秘書政策室長 ホームページ（以下HP）及び公式LINE等による情報発信は、各課で町からのお知らせや観光・イベント情報、防犯・防災情報などを各課長の責任で行っている。

問 運用規定はあるのか

秘書政策室長 HPは規定があるがSNSは規定等ない。今後整備に向けて取り組んでいく。

問 町の情報発信は何があり、管理責任者は誰か

秘書政策室長

- ◎防災行政無線：危機管理防災課長
- ◎HP：副町長
- ◎広報：町長
- ◎SNS：秘書政策室長

問 何に重きを置いていくか

秘書政策室長 公式LINEを導入した。今後はプッシュ型の情報発信ができる公式LINEの運用に重きを置く。現在1,001人が登録。

問 公式LINE登録者数増加の対策は

秘書政策室長 広報みふねによる周知や各課の会議や総会等での登録促進を全庁的に図っている。LINE登録のメリットを増やすため、受信設定やリッチメニューの追加など取り組みが必要である。

問 SNS等で発信する専門の部署が必要ではないか

秘書政策室長 情報の発信は各課で実施している。HPやLINEへの情報は掲載されるが、FacebookやInstagramは情報発信ができていない。運用規定の整備等に合わせ、HPやLINEと連携できる仕組み等も考え、積極的な情報発信に努める。



まずはお手持ちのスマートフォン、パソコンで友だち登録から！

町公式LINEはこちら

質問を終えて

色んな情報発信は各課長に委ねられているが将来的には専門部署が必要だと感じた。また情報種別により民間委託の選択肢もあると思う。

有機フッ素化合物への対応は

A. 国・県の動向を注視し、適切に対応する。



田上英司議員



◀動画をチェック

質問の背景

経済効果の裏には自然破壊や予期せぬ最悪の結果を招くことは周知の事実である。

問 熊本県が産廃処理企業を御船町に誘致・仲介したと嘉島町の2021年10月発行の広報かしまに掲載されている。当時の広域連合の荒木町長が基本合意に達したといわれておりこれが事実ではないのか

環境保全課長 熊本県は企業誘致の見解を示していない、また嘉島町から広報が不正確な表現だったと報告を受けている。

問 予測不可能な問題発生への自治体による住民補償は考えているのか

環境保全課長 施設内の事案は事業者、周辺の道路等では町が原因者となることが想定される。住民被害には速やかに対応する役割や体制を明確にしておく必要がある。

問 令和2年環境省から全国に出されたPFAS（有機フッ素化合物）に関する手引きは承知されているか

環境保全課長 承知している。御船町でも本年度上水道の水源9か所で検査予定。健康への影響を含め、研究や議論がされており、注視していく。

問 建設予定施設はクローズドシステム、いわゆる処理水は施設内ですべて処理するから大丈夫というが100%裏付けはない。6月12日NHK報道でも水道でも危険と衝撃的に取

り上げられ、社会的に新たな大問題として浮上している。見解をお尋ねする

環境保全課長 国の暫定指針をもとに水質検査を適正に実施していく。

問 有機フッ素化合物に対する住民への安心・安全の保証はあるのか

環境保全課長 有機フッ素化合物の内、PFOS・PFOAは製品として日常生活に多く存在している。建設予定施設は適正に処理する能力を有していると聞いており、町としてはモニタリング体制を構築し取り組んでいく。



この声を無視できるのか

質問を終えて

政治は信なくば立たず、住民の声に耳を傾け、共に歩く、それが行政の至上命題であり、最大の責務である。



令和5年度陳情第6号 牛ヶ瀬2区「みんなの家」駐車場の整備の陳情について

産業厚生常任委員会 委員長 ジェリフはづき

令和5年度陳情第6号牛ヶ瀬2区「みんなの家」駐車場の整備の陳情については産業厚生常任委員会に付託され、これまで令和5年12月21日に陳情者へのヒアリング及び現地視察、1月5日、2月8日に建設課へのヒアリングを行いました。

ヒアリングを踏まえ、3月7日に行った委員間討議において、次のような意見が出た。

- 道路管理者である町が安全面の理由から駐車場利用を許可できない方針を示したこと、警察の示した条件を満たして駐車場整備したとしても非常に使いにくくなることを踏まえると、駐車場の整備自体は難しい
- 平成音楽大学の駐車場を使用させてもらう

事もあるが21時にしまってしまうので使い辛さがあるとのことだが、町が仲介して大学と使用方法について交渉することが可能ではないか

- 陳情者ヒアリングによると、今回の陳情は駐車場整備という内容だが、趣旨は集会所へのアクセス改善による地域コミュニティ活性化なのではないか

以上の意見を踏まえた審議の結果、全会一致で不採択に決定した。また、陳情者へのヒアリングを通して確認された内容を踏まえ、本委員会でもまとめた執行部への意見は、下記のとおり。

陳情第6号の趣旨が、単に駐車場を整備することではなく、地区集会所へのアクセス改善によって地域活動への参加を促し、地域コミュニティの活性化を実現させることにあったことが確認されました。

このことを踏まえ、当該町有地の花壇を駐車場として使用することが困難だとしても、例えば平成音楽大学に対する駐車場使用条件の緩和を求める交渉を町が仲介するなど、集会所へのアクセス改善及び地域コミュニティ活性化を促進するための手立てを地域と共に考えること。以上。



現地を陳情者の方と確認



建設課とのヒアリング



議会運営委員会 先進地視察研修



こども議会の実現に向けて

議会運営委員会 委員長 宮川一幸

8月21日(水)に御船町でこども議会を開催するにあたり、先進地の視察を行なった。

6月24日 佐賀県基山町議会 「議会報告会及び子ども議会について」



6月24日に、佐賀県基山町を訪問し、議会報告会と子ども議会について視察研修を実施しました。基山町議会の議会報告会は、テーマを決めてワークショップ形式での意見交換会を実施



し、また、子ども議会は、中学3年生が執行部役と議員役に分かれ、議案も生徒自らが作成し、議場で審議を行い、賛成反対の討論を経て採決まで実施されている。

6月25日 福岡県苅田町議会 「苅田町 SDGs 子ども議会について」



6月25日に訪問した福岡県苅田町では、SDGs推進の取り組みの一環として「苅田町 SDGs 子ども議会」を2月4日に開催し、担当部署は執行部の企画課で、中学校2校、小学校6校それ

ぞれの代表者が子ども議員となり、事前学習会を行い、SDGsをテーマに地域や地球環境等について、町に対して提言されている。



私たちの御船町をもっとわくわくする町にするために!!
こども議員として一般質問します!



令和6年度 御船町こども議会開催します

日時 8月21日(水) 13:30～

場所 御船町役場3階 議会本会議場

傍聴可能

当日はライブ配信も行います

御船中学校こども議員の活躍にご期待ください!

委員会報告

安全な樋門管理に年齢制限は必要か

産業厚生常任委員会 委員長 ジェリフはづき

町が樋門管理を委託する樋門管理者の年齢には制限が必要ではないか、という議論があることを受け、産業厚生常任委員会の所管事務調査で取り扱うことに決定した。

まず、6月13日の委員会では、上荒瀬と滝川の樋門を現地視察し、樋門の仕組みや管理者が行う作業内容について建設課から説明を受けた。

上荒瀬の樋門は町内で唯一の「スライドゲート」で、手動による操作で樋門を開閉する必要がある。一方、



現地視察

滝川の樋門は「フラップゲート」で、水位と水圧の変化を利用して自動的に開閉する仕組みになっており、大雨時に現地で操作する必要がない。町内にあるその他の樋門も同様の仕組みで、上荒瀬の樋門もフラップゲートへ改修の計画が進んでいるとのことだった。

樋門管理者が担う主な作業は、月に1回程度、平常時に樋門を訪れ、ゲート開閉の障害となる異物が挟まっていないか、土砂が堆積していないか等について目視で点検し、異常を発見した場合は町に報告し対応を求めるというもの。現在、樋門管理者の年齢構成は48～86歳で、平均年齢が68.2歳である。

今後は、今回の視察内容をもとに委員間で意見交換を行い、委員会としての意見や対応について議論する。





～笑顔・元気・感謝～

No.3

七滝中央小学校



議会広報編集特別委員会 委員 作田 豊明

7月5日・9日に七滝中央小を訪問し、大江律子校長からお話を伺った。

七滝中央小は上野小、田代西部小、七滝小、田代東部小、袴野小の5校が統合した学校で、御船町に住んでいる子供はどこからでも通学することができる小規模特認校で現在17名がその制度を利用されている。学校教育目標は、「ふるさとに笑顔・元気・感謝を届ける七滝中央っ子」だ。

特に、伝統芸能や地域学習、体験活動に力を入れられており、田代西部小で受け継がれてきた「獅子舞」は3年生、新風太鼓「響」は6年生、上野小の「寅舞」は4年生、新たにつくられた「能寛太鼓」は5年生と、それぞれの学年が地域の祭りやイベントに参加し、披露されている。子どもの姿に涙ぐむ方もいて、私を含め、地域住民はとても楽しみにしている。子供たちは、地域の人の姿から、「地域の一員」としての自覚を高めているとのこと。



新風太鼓「響」



梅ちぎり

また、七滝中央小校区には地域の偉人や地域の遺跡、史跡もたくさんあり、それらを調べることで、地域を誇りに思う子供たちが育っている。昨年は、調べ学習の中で「七瀧村歌」を発掘されたとのこと。地域の方は、子供たちを温かく見守っており、また地域の方の協力で、田植え・稲刈りだけではなく、いも植え、いもほり、茶摘み、梅ちぎり、玉ねぎ植えと玉ねぎ掘りなどたくさんの農業体験や夏休みには健全育成会議主催のブルーベリー狩りをされている。

七滝中央小は、やさしく思いやりのある子供たちで上級生が下級生を温かく見守る風土もあり「相手が今どんな気持ちでいるのか」考え行動できる子供たち。「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「感謝いっぱい」の七滝中央小で子供を真ん中に、学校・地域・家庭が一体となって「自分・友だち・学校・ふるさと大好き七滝中央っ子」を育てていただきたい。



地域学習サポーター



御船高校で学んだことを生かしたい

私は御船高校電子機械科を卒業して4月から社会人になりました。現在は勤務先で機械の設計から電気制御、組立の工程を学んでいるところです。毎週木曜日は上司や先輩社員の方とビーチボールバレーを楽しみ、趣味のトランポリンも続けて、充実した毎日を送っています。

私が住んでいる水越地区は公共交通機関がコミュニティバスしかなく、バスの本数も少なく、決して便利なところとは言えません。私が進路を決める時に「自力で登校できる場所にあること」「工業系への就職を希望している」ということもあり、迷わず御船高校へ進むことを決めました。

高校在学中は電気系と機械系の両方の資格を取りました。授業や実習で学んだことももちろんですが、マイコン制御部ロボット班に所属し、ロボットのプログラミングから製作、操縦など

水越(有水)

星野那奈



の全ての工程を自分たちで行ってきた経験が、インターンシップの際にも、そして就職した現在も役に立っていると思います。

また、町内に電子機械科がある高校があり、専門的なことをしっかり学べたこと、その中で3年間のたくさんの思い出は自慢できる価値のあるものだったと思っています。

高校での学びを活かしながら、これから仕事に取り組んでいきたいと思っています。

みふね町の宝にインタビュー!!



七瀬中央小学校 6年生

Q1 御船町の好きなところ

A1 ★水が綺麗 ★自然が多い ★恐竜博物館がある

Q2 御船町に望むこと

A2 ★図書館 ★国際交流施設 ★スポーツ施設
★ファーストフード、カフェ ★釣り堀、釣具店 ★電車

Q3 学校の自慢

A3 ★伝統芸能を受け継いでいる ★グラウンドが芝
★地域との関わりが深い ★学校の全員仲が良い
★自校給食

Q4 将来の夢

A4 ★大工 ★釣りの腕をあげたい ★プロ野球選手
★サッカー選手 ★世界革命的天才イラストレーター
★獣医師 ★プロスケーター ★本屋さん

8月行事予定

2日	全員協議会(予定)、 総務文教
5日 7日	所管事務調査(総務文教)
21日	こども議会

表紙のこぼれ話

子ども達が楽しみにしていた田植え。心配していた天候も幸い曇天で最高の田植え日和。子ども達は歓声を上げ田んぼに入り、泥んこになり無事に終わった。子ども達の笑顔に早苗のようにすがすがしい気持ちになった。



餅米を植えたので、冬に餅つきを予定されているとのこと